

[65歳以上]

インフルエンザ予防接種予診票

* 接種希望の方へ：太ワク内にご記入下さい。

		診察前の体温		度		分	
住 所	京極町字	TEL ()		—			
(フリガナ)	()	男	生 年	明治	年	月	日生
氏 名		女	月 日	大正	(歳	ヶ月)	
				昭和			

質 問 事 項		回 答 欄		医師記入欄
1	今日受ける予防接種について説明文（裏面）を読みましたか。	はい	いいえ	
2	今日の予防接種の効果や副反応などについて理解しましたか。	はい	いいえ	
3	現在、何かの病気にかかっていますか。 病名 ()	はい	いいえ	
	治療（投薬など）を受けていますか。	はい	いいえ	
	その病気の主治医には、今回の予防接種を受けてもよいと言われましたか。	はい	いいえ	
4	免疫不全と診断されたことがありますか。	はい	いいえ	
5	今日、体に具合の悪いところがありますか。 具合の悪い症状を書いて下さい。()	はい	いいえ	
6	薬や食品で皮膚に発しんやじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか。	はい	いいえ	
7	インフルエンザ予防接種を受けたことがありますか。 ①その際に具合が悪くなったことはありますか。 ②インフルエンザ以外の予防接種の際に具合が悪くなったことはありますか。	はい はい はい	いいえ いいえ いいえ	
8	ひきつけ（けいれん）を起こしたことがありますか。	はい	いいえ	
9	1ヶ月以内に予防接種を受けましたか。 予防接種の種類 ()	はい	いいえ	
10	心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患などの慢性疾患にかかったことがありますか。 病名 ()	はい	いいえ	
11	その病気の主治医には、今回の予防接種を受けてもよいと言われましたか。	はい	いいえ	
12	最近1ヶ月以内に熱が出たり病気にかかりましたか。 病名 ()	はい	いいえ	
13	今日の予防接種について質問がありますか。	はい	いいえ	

医師の記入欄：以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は(可能・見合わせる) 医師の署名又は記名押印
本人に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について説明した。

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種を希望しますか。 (接種を希望します・接種を希望しません)	本人の署名 〔 ※自署できない者は代筆者が署名し、代筆者氏名及び被接種者との続柄を記載。続柄_____ 〕
--	--

使用ワクチン名	用法・用量	実施場所・医師名・接種日時
インフルエンザHAワクチン	皮下接種 0.5mL	実施場所： ひまわりクリニックきょうごく 医師名： 接種日時： 令和 年 月 日

記載頂きました個人情報 Wakuchin 接種の予診に関してのみ使用致します。

インフルエンザ費用助成制度の利用にあたり、介護保険料段階区分の確認を、ひまわりクリニックが行うことに同意しますか。 (同意します・同意しません)	本人の署名 〔 ※自署できない者は代筆者が署名し、代筆者氏名及び被接種者との続柄を記載。続柄_____ 〕
---	--

インフルエンザワクチンの接種について

インフルエンザの予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、表面の予診票に出来るだけ詳しくご記入ください。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入下さい。

【ワクチンの効果と副反応】

予防接種により、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡などを予防することが期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれる、小水泡、蜂巣炎、血管浮腫などがみられることがあります。過敏症として発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、失神、顔面神経麻痺等の麻痺、末梢性ニューロパチー、振戦、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、腹痛、食欲減退、関節痛、筋肉痛、筋力低下、しびれ感なども起こることがあります。また、発しん、蕁麻疹、湿疹、紅斑、かゆみ、咳、動悸、ブドウ膜炎などもまれに起こります。**強い卵アレルギーのある方は強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出て下さい。**

また、非常にまれですが、次のような重大な副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー様症状(蕁麻疹、呼吸困難など)、(2)急性散在性脳脊髄炎(接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など)、(3)脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎、(4)ギラン・バレー症候群(両手足のしびれ、歩行障害など)、(5)けいれん(熱性けいれんを含む)、(6)肝機能障害、黄疸、(7)喘息発作、(8)血小板減少性紫斑病、血小板減少、(9)血管炎(1gA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破砕性血管炎等)、(10)間質性肺炎、(11)皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、(12)ネフローゼ症候群、このような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出てください。なお、健康被害(入院が必要な程度の疾患や障害など)が生じた場合については健康被害を受けた人又は家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて救済手続きを行うこととなります。

【予防接種を受けることができない人】

1. 明らかに発熱のある人(37.5℃を超える人)
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある人
なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いで下さい。
4. その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

【予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人】

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を継続して受けている人
3. カゼなどのひきはじめと思われる人
4. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱のみられた人及び発しん、蕁麻疹などのアレルギーを疑う異常がみられた人
5. 薬の投与又は食事(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発しんがでたり、体に異常をきたしたことがある人
6. 今までにけいれんを起こしたことがある人
7. 過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことがある人
8. 妊娠の可能性のある人
9. 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患のある人

【ワクチン接種後の注意】

1. インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応が起きることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
2. 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
3. 接種当日は、接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
4. 万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。

あなたの接種日	医療機関名
月 日 () です 当日は受付に 時 分頃 おこし下さい	ひまわりクリニックきょうごく